

「もう一度心に留める！！」

～押し流されるな～ヘブル2:1～8、マタイ26:24～25、ヘブル3:15～19

あなたは目の前に起きる状況や現状に押し流されずに立っているのでしょうか。目の前の小さな出来事、心を揺れ動かす大きな出来事に右往左往したり、ちょっと嫌な事が起きると感情的になって全て破壊し、相手のとった顔色や言葉や人の様々な会話に影響を受けていませんか。祈り、神様に解決を求め、そこで何をするか私たちの仕事です。あなたが何故そこで聞くのか、何故そんな問題が起きたのかを理解しましょう。

イエス・キリストがあなたの為に十字架にかかって死なれたという事を心に留めておかなければいけません。神様の前に本当に命をかけて集う人はみるみるうちに変化が起こります。命がけの犠牲の奇跡はあなたの中に息づいているからです。人を変化させ、作り変え、創造された素晴らしい完璧な姿に戻すのです。

■ 恵みを無にするなかれ

聖書の中にアナニアとサツピラという人が出てきます。使徒の時代に、人々は人生を作り変えられ、全部の財産を捧げてみんなで一緒に生きていました。ところが彼らは偽り、人々をだまして、自分たちの物だけ隠し持っていたのです。神様はそれを見て彼らの命を取りました。神様が一番嫌う罪は、あなたがあなたを欺くことです。本来のあなたの姿を損なう姿です。アナニアとサツピラは、自分たちは正しいと言いながら、自分たちの偽りを無視し打ち消し、神の前に自分と神の家族を欺いたのです。失敗する事は何ら問題ではありません。けれどそれを指摘されても心を頑なにするのだとすれば、イエス・キリストの死に対する大変な冒瀆です。ごめんなさいと言えどもを育てたいと言いながら、大人がごめんなさいと言えない世界を作っているのです。

■ あなたの願いは何ですか

「私は誰にも頼られない、任せられない」と言う人がいます。それは神様との信頼関係が壊れているからです。神様はあなたを信頼しているからあなたに関わったのです。これは受動的なもので、あなたが努力して得られるものではありません。一方的であり無条件なのです。賜物という言葉が聖書の中にあります。神様の多大な能力の中から一部分を無条件であなたにプレゼントしてくれたもので、溢れ出るその人の天性というのは一人一人にあり、これがタラントです。ですが「救い」に関してはこのタラントという表現は使っていません。「分配」とか「分与」とか、自分の持てるものを半分裂いて与えるという相続のようなもので、与える時には自分のものが削られているのです。「御霊が分け与えてくれる賜物」というこの賜物は、犠牲をもって与えるというものであって、その犠牲は私たちの所に届くまで、多くの人たちの証言によって継承されたものだと書いてあります。今あなたが信仰を持って教会にいる、そのことは当たり前ではないのです。イエス様の十字架の死だけではなく、本当に大変な犠牲と命がけの人生の人たちの生き様の積み重ねで福音を継承したからこそ、あなたのところまで届いたのです。今

までどれだけの人があなたを通して傷いたかを思い起こしてみてください。それでも、あなたは那些人たちをもう一度生かし、幸せにする力を賜物で持っているのです。それはイエス・キリストが自分を引き裂いて犠牲を払った生き様を通してあなたに残されたものなのです。

■ ②人との信頼関係 ～能動的～

相手があなたを信頼してくれるからあなたが信じるわけではありません。神様が無条件であなたを信頼し、あなたの事を作り変えたのです。あなたがもし失敗した時でも、神様の前に素直にごめんなさいと言えたら、神様との信頼関係は担保されます。でも人との信頼関係はそうではありません。あなたが言った言葉は、例え今日あなたが変わっても、昨日言ってしまった言葉はその人の心にずっと残っています。相手が変わるのを待っていても誰も変わりません。だからクリスチャンにイエス様は「自分の敵を愛し、迫害する者にために祈りなさい。」(マタイ5:44)「自分にしてもらいたいことは、ほかの人にもそのようにしなさい」(マタイ7:12)もし争いがあるなら「あなたの兄弟と仲直りをしなさい」(マタイ5:24)と言われました。信頼は能動的なものです。あなたがその人に関わってあげなければ誰も関われないのです。その人を信頼し能動的に何度でも向き合ってください。

■ ③自分を自分のものにするな

自分を自分のものだと思う、私たちはこれが大好きです。「私の自由にしたい」これは悪魔の策略です。今どんなものを食べて、どんな生活を行っていますか。あなたが今あなたの人生を生きられるのは、イエス・キリストの命がけの愛があったからです。あなたの一つ一つの行動が栄光を現すものなら、それは素晴らしいものですが、自分の欲を満たすものなら止めなければなりません。何故食生活の腐敗が起きたのでしょうか。悪魔は食生活を壊す事で、私たちの人生を壊しているのです。あなたの体はあなたのもではありません。ですから、あなたのことを大事にしてください。

■ 本当の自分を保つ

イエス・キリストの十字架がどれほど痛みと苦しみであったか、あなたがどれほどに愛され、大きな夢を任せられているか、心に留めてください。是非神様との信頼関係を保ち、あなたの隣の人の事を信じ、愛してください。その人の為に自らの人生を用いてください。あなたの為に九割使い、残りの一割だけでいいから隣の人の為に使いなさいと神様は言われているのです。あなたを大事にし、いつもいい状態でいられるように戦いましょう。私たちは魂の管理者です。神様に任せられた最大の仕事です。あなたの口はこんな私を愛してくれた人がいると伝えるためにあるのです。あなたが伝えれば助かる人がいます。心を頑なにせず目を開き、もう一度あなたの心を自分で保ちましょう。

(要約者:西崎 芳栄)